

| 科目名 | 家庭支援論 | | | | | | |
|--|-------|------|--|-------------|----|-----|----------|
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 | | | |
| 講義 | 選択 | 2 | 2 | 前期 | | | |
| 担当者名 | 水田 和江 | | 関連する資格 | 保育士資格 必修 | | | |
| 授業概要 子どもの生活拠点である家庭環境の現状について理解し、社会状況の変化、地域社会の変化との関連から家族や子育てを取り巻く問題について考察する。また、保育者の視点から、保護者への支援方法について知る。 | | | | | | | |
| 到達目標 1. 家庭の意義とその機能について理解する。 2. 子育て家庭を取り巻く社会的状況等について理解する。 3. 子育て家庭の社会的支援体制について理解する。 4. 保育士として子育て家庭のニーズに応じた支援方法の原則を知る。 5. 子育て支援のための関係機関との連携について知る。 | | | 成績評価方法 ○定期試験、授業外レポート、授業内容のまとめの総合点 ○期末定期試験については、2/3 以上の出席を受験条件とする。 | | | | |
| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験（中間・期末） | ○ | ○ | ○ | | | | 60 |
| 小テスト、授業内レポート | | ○ | ○ | | | | 10 |
| 宿題、授業外レポート | | ○ | ○ | | | | 20 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | ○ | ○ | | 10 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |
| 授業計画と概要 | | | | アクティブラーニング | | | |
| 1) 家庭・家族の意味と機能 | | | | 授業の振り返りとまとめ | | | |
| 2) 家庭生活を取り巻く社会的状況(1980年代まで) －地域社会の変容と家族の人間関係の変容－ | | | | 授業の振り返りとまとめ | | | |
| 3) 家庭生活を取り巻く社会的状況(1990年代以降) －男女共同参画社会とワークライフバランス－ | | | | 授業の振り返りとまとめ | | | |
| 4) 子育て家庭の支援施策 －少子化社会と次世代育成施策の推進－ | | | | 授業の振り返りとまとめ | | | |

| | |
|--|-------------------------|
| 5) 子育て家庭の支援施策 ー子ども・子育て新システムと子育て支援サービスー | 授業の振り返りとまとめ 小テスト |
| 6) 多様な支援の展開① ー保育所利用家庭の状況と支援ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 7) 多様な支援の展開② ー要保護児童・被虐待児及びその家庭への支援ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 8) 多様な支援の展開③ ー障害のある子どもとその家庭に対する支援ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 9) 多様な支援の展開④ ー地域の子育て家庭への支援ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 10) 子育て家庭への援助方法① ー家庭支援と援助方法の原則ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 11) 子育て家庭への援助方法② ー保育所保育士が行う家庭支援の原則と実践ー | グループディスカッション とまとめ |
| 12) 子育て家庭への援助方法③ ー施設保育士が行う家庭支援の原則と実践ー | グループディスカッション とまとめ |
| 13) 子育て家庭への援助方法④ ー子育て支援にかかわる専門職員の役割ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 14) 子育て家庭への援助方法⑤ ー児童家庭支援センター等専門機関との連携ー | 授業の振り返りとまとめ |
| 15) 家庭支援の今後の課題 | 授業の振り返りとまとめ 授業外レポート |
| 授業外学習 | |
| <p>毎回、講義終了時に各自で学びを振り返り、講義のポイントをまとめる。不明だった点については自分のわかる範囲で調べる。そのうえで、授業時に質問し、確認していく。</p> <p>事例について、各自で保育者の活動を予測し、授業時にグループで検討する。</p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| <p><テキスト> なし。随時プリントを配付します。</p> <p><参考書> 「よくわかる家庭福祉論」橋本真紀他著（ミネルヴァ書房） 「社会的養護の理念と実践（第2版）」中野菜穂子他著（(株)みらい）</p> | <p>児童家庭福祉 社会的養護</p> |
| 備考 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学ぶ目的を明確にし、積極的に参加する。 ・毎時間のレジュメ、ノートや配布資料を整理し、授業で学んだことを確認する。 ・授業中の飲食、携帯等の使用は禁止する。 <p>【オフィスアワー】授業の前後で対応します</p> | |